クライムと中央カレッジ提携

教育と職業訓練 同時に

ソフトウェア、システム開発のクライム（高崎市栄町、金井修社長）と、専門学校を運営する中央カレッジグループ（前橋市古市町、中島利郎理事長）は19日、アジアからの高度人材交流と、産学連携による実践的な職業教育で提携すると発表した。

システムエンジニア（SE）やプログラマー持つ同グループに着目した。

同グループが紹介する各国のSEは、技術者として最長5年在留してもらう。適性検査や作業マニュアルの作成、日本語教育などは同グループのCRI中央総研（同市新前橋町）が担当する。

産学連携による職業教育では、同グループが運営する情報系の専門学校の学生を対象に、教育と職業訓練を同時に進める「日本型」デュアルシステム」を実施する。2～4年生約350人から希望を募り、午前は座学、午後は同社と提携し実習を4月1日から始める。

実習内容はテストやデータ入力といった簡単なもので、指導や技能評価はクライム側が行う。実習の対価として奨学金を支払う。

中島理事長は「デュアル方式は学生のためにもなり、非常に期待できる。今後も企業といろいろな学科、コースにわたって提携していきたい」と述べた。

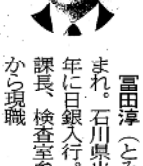
握手するクライムの金井社長（左）と中央カレッジグループの中島理事長

点描 ぐんま経済 ■2■

日銀支店長 見聞録

製造業とサービス業

垣根越え地域に活力を



冨田淳（とみた・じゅん）　1964年4月生まれ。石川県出身。早稲田大政治経済学部卒。88年に日銀入行。総務人事局企画役、大阪支店文書課長、検査室参事役などを歴任。2014年5月から現職

「地方創生」に向けて私どもが果たせる役割は何か。最近、そうした自問自答を繰り返しながら地元企業の経営者の方々と面談する機会が増えている。こうした面談は、統計分析を中心とした景気判断からは見えてこない、地元企業の活力の源泉を実感させてくれる絶好の機会だ。

高崎市にある試作部品メーカーの経営者から伺った「サービス製造業」という経営理念もその一つだ。業種の壁を越えてさまざまな試作部品を手掛けたところ、期せずして「ある業界で一般的と思われる加工が別の業界では驚きをもって歓迎される」という気付きを得たそうだ。顧客や市場は意外に近くにある。未来の顧客への「ラストワンマイル」を制することが差別化の鍵となり得るということであろう。これを埋めるための働きかけという営業活動は機械にはできない仕事だ。この会社では、社員全員が営業担当であり、人材育成が難しい派遣社員には頼らない。

「特注品は遅くて高い」という常識を見事に覆している点も興味深い。顧客ニーズに合った製品を、コストを抑制しながら柔軟かつスピーディーに作り直していく。そこには、生産面での工夫にとどまらず、搬送時間の短縮や技術提案など顧客側の発想に立ったさまざまな工夫＝サービス精神が大きな鍵となっているようだ。ここでも主役は、当然、人（社員）ということになる。

「モノ」を作るだけなら価格競争に巻き込まれてしまう。こうした危機感から、いま、当地の製造業においても、モノづくりと顧客サービスを統合した新たなビジネスモデル、「製造業のサービス業化」が地道に進展しつつあるように感じている。一方で、小売業におけるPB（プライベートブランド）戦略に象徴されるような「サービス業の製造業化」も進んでいる。また、いわゆる「農業の6次産業化」もこれらと共通の流れと言えるだろう。

経営者の意識変革と的確な人材育成によって、当地でも、製造業とサービス業の統合が地元企業の活力の源泉の一つになっていくのかもしれない。

そうした期待を抱きながら、これからも当地の「地方創生」のためにどのような貢献ができるか考えていきたいと思う。

（毎月1回掲載）

年間発電量 150万キロワット

安中でメガソーラー竣工式

テープカットをする参加者

スリーラージ安中郷原ソーラーパーク（伊勢崎市大手町、小野里洋平社長）は、安中市郷原の市有地に建設した大規模太陽光発電所（メガソーラー）の竣工式を同所で開いた。同社や茂木英子市長ら関係者約20人が完成を祝った。

敷地面積は約2万3千平方㍍で最大出力約1500㌔㍗、年間発電量約1150万㌔㍗㍗を見込む。1月13日から稼働している。総工費4億5千万円。

式典では小野里社長が「計画変更や打ち合わせなどさまざまな壁を乗り越えてこの日を迎えた。ここからが我々のスタートだ」とあいさつ。茂木市長らとテープカットした。

セブンオン

全ショーケース ノンフロン対応

きょう伊勢崎に開店

コンビニチェーンのセブンオン（前橋市亀里町、平田実社長）は20日、消費電力の削減を図るため店内全ての売り場ショーケースを自然冷媒（ノンフロン）対応にした「セブンオン伊勢崎香林南店」（伊勢崎市香林町一丁目）を開店する。

食品や飲料、アイスクリームなどの陳列ケースに、二酸化炭素（CO_2）やプロパンを冷媒として使用するショーケースを採用した。フロンを使用する一般的なショーケースと比べて省エネ効果があるほか、オゾン層の破壊や地球温暖化といった環境への負荷が低いのが特徴。

同社では、一部のショーケースで採用する例はあったが、店舗全体で導入するのは今回が初めて。従来型店舗と比べると1店舗当たり約20％の電力が削減できるという。

同社経営企画部は「今後も環境に配慮した店づくりに取り組んでいく」としている。

「まちづくり考える好機」

高崎女性経営者研究会が懇親会

高崎女性経営者研究会（吉村巳之会長）は、高崎市内のホテルで新旧親睦パーティーを開き、商工関係者ら約100人が交流を深めた。

吉村会長はあいさつで「高崎は今、変革の時期に来ている。女性の立場でどんな意見をうべきか、どんなまちにしたいのか、考えるチャンスに恵まれており、それをしっかりと生かしていきたい」と決意を述べた。

新年度役員や新会員の紹介もあり、出席者は和やかな雰囲気で歓談した。

同会は、高崎市の商店や事業経営に携わる女性で構成。県内外で活躍する人を講師に招いたセミナーなどを開いている。

あいさつする吉村会長

県内関係上場株

東証1部

銘柄	終値	前日比
佐田建	145	△2
関電工	694	△16
ヤマト	444	△6
信越化	8194	△139
群栄化	351	△2
東武鉄	386	▼2
三益半導	1379	▼31
平和	2422	△17
SANKYO	4815	△60
サンデン	500	△11
マックス	1393	△15
日精エ	1545	△12
TOHKI	548	0
ヨコオ	1477	▼2
カシオ計	1377	△4
ココカラ	5241	△1
沢藤電	255	△4
日CMK	384	△1
太陽誘電	650	△10
市ミツバ	237	△3
日野自	317	0
カルソニ	1377	▼2
富士重	3970	▼24
JIN	3415	▼65
ビックカメ	1406	△48
アジュバ	3185	△75
ヤマダ電	508	▼7
群馬銀	843	△15
東和銀	105	△3

東証2部

小島鉄	126	0
明星電	147	▼1
セコム上	8150	△30
日本ピュ	1648	△47

ジャスダック

コシダカHD	2070	△18
カネコ種	1102	▼7
扇興エンジ	457	▼3
免疫生研	1056	0
小僧クラブ	331	▼15
西電システ	1215	▼90
ワークマン	5670	△3
セキチュー	554	△4
ニッパン	274	△1

マザーズ

ホットランド	3140	△75

群馬にはドラマがある。

看護師国家試験 対策セミナー
定員先着150名 事前申込必要
12:30～13:30（学生対象）
看護師国家試験対策専門予備校「さわ研究所」
講師 松森 大輔 ここ数年の試験傾向から読み解く
テーマ「ポイントをつかむなら今！合格のための勉強法」
これから実習が始まり多忙な一年がスタートする今だからこそ、つかんでおきたい勉強法をお話しします。

群馬で就職するな
会場での話を聞い
合同就職
13:00～16:30
参加病院の各ブー
訪問する形です。
ぐんまちゃんも応援に

医療法人 井上病院